

大江文庫から ごきげんよう



目次

- ・巻頭言 天野 正子 2
- ・図書館報タイトル
コンテストについて 3
- ・本の周辺 杉本 茂 4
- ・企画展示の舞台裏! 5
- ・ラーニングコモンズについて 6
- ・図書館のあれこれ 7
- ・学生編集スタッフのおすすめ図書 8

「卒業成長値」のさらなる向上をめざすラーニング・コモンズへ

この数年、多くの大学で、カリキュラム改革や教授法・学習法の改善とともに、大学のキャンパス環境が大きく様変わりしつつある。「ラーニング・コモンズ」(Learning commons)はそのシンボルとあってよい。

ラーニング・コモンズとは何か——。日本語の訳語はなく、カタカナ表記が通例となっている。欧米生まれの学習支援機能を強めた図書館をさす言葉だ。広義では学習を支える共通空間、いわば学生たちのための多様で新しい学習支援空間であり、学生の主体的・自主的な学習としてのアクティブ・ラーニングを展開する一つの「場」である。

私が今の時代にふさわしい新しい学習空間を創造し、教学改革の起爆剤としたいという思いで本学の図書館報に「ラーニング・コモンズのすすめ」を書いたのは、平成24年のことだった。それから3年、岩見図書館長をはじめ教職員の熱心な取り組みのおかげで、本学の図書館はこの4月ラーニング・コモンズとして、装いも新たに生まれ変わろうとしている。本学のキャンパスに新しい風が吹き始めた。

ラーニング・コモンズの開設に際して重要なのは、どのような理念や目的のもとに環境整備をすすめるかである。いいかえれば「東京家政学院大学ならではの」ラーニング・コモンズのあり方への模索である。

検討された資料によれば、「“卒業成長値”を高める教育のさらなる向上をめざす“ラーニング・コモンズ”」とある。いうまでもなく、他大学と一線を画す本学特有の教学のあり方は、「卒業成長値」を高める教育の実践である。入学してきた学生たちの隠れた可能性や能力、意欲や関心を四年間の教育でどのように掘り起し、引き出し、伸ばすことができるか、どのような付加価値を付けて卒業させることができるか、である。

本学は入学してきた学生一人ひとりの可能性や意欲を引き出し、その成長にいていねいに目を向ける対話型の少人数教育を徹底している。また、伝達型の座学より実験や実習などのグループワーク、地域連携などフィールド中心の学生参加型の教育プログラムを充実させている。それは学習意欲や関心、自主的な学習行動を「誘発する」「引き出す」という学習の営みの可能性を信頼しているからに他ならない。

因みに学生の主体的学習が奨励され、その具体的展開としてのアクティブ・ラーニングが提唱されたのは2012年の大学審議会答申においてであるが、その意味では、本学はすでにアクティブ・ラーニングを実践して

きたことになる。

アクティブ・ラーニングの実践は、授業中の学生たちの学習行動を変化させる。学生が個別に学ぶだけでなく、学生同士、教員と学生との間で、学んだ成果や発見した問題点、疑問を相互に交換する集団活動型学習の機会が大幅にふえる。そしてそうした行動変化を環境面から支えるものとして、自由な場と空間が必要になる。固定した机と椅子という従来の大学図書館には、学生たちが自由に集い、移動し、議論し合う場や空間はなかった。

本学のラーニング・コモンズの開設で画期的なのは、図書館内外での連携をはかりながら学生の学習支援活動を活性化していく、ハード面の充実が図られたことである。ラーニング・コモンズの教育成果を生む基本スペースとして、次の4点があげられている。

- ①グループワーク・スペース：学生同士、教員と学生が相互に議論し刺激しあうグループワークを支え、ディスカッションによる課題学習を展開できるスペース
- ②ラーニングサポート・スペース：本学がすでに取り組んでいる学習支援活動を、学内の各センターと連携してより効果的にすすめ、集団の学びだけでなく、学生一人ひとりの個性に応じた学習支援を強化していくスペース
- ③コモンギャラリー：広く学内外の人びとの協働によって得られた成果を展示し、さらなる交流の機会を生み出し、学生たちが異なる世代、経験、価値観をもつ人たちとの交流を通して、社会に通用する力量を育てていくスペース
- ④ディスカバリー・スペース：読書に親しみ、学術雑誌を読み解く情報リテラシー教育や、学生自らが適切な情報源を選択し活用する、情報活用支援サービススペース

おそらく今後の課題として、学部の上級生や大学院生など、学生の学習相談や学習補助活動に関わる人的資源を育てることが重要になるだろう。

いま、待ち望んでいた本学のラーニング・コモンズが船出していく。学生たちが本当に求めている学習支援とは何か、どのような空間なのかをつねに重視しながら、ラーニング・コモンズの充実を図ってほしい、そう願っている。

参考文献：『IDE 現代の高等教育』No.556, 2013年12月号
(本学 学長)



図書館報タイトルコンテストについて

図書館報は昭和49年に刊行を開始し40年目の昨年、60号を記念して全面リニューアルをしました。そして61号からタイトルもリニューアルすることになり、学内の皆様からタイトルを公募することとなりました。

7月下旬に公募を開始し、11月末公募の締切、12月中旬には図書館報タイトル検討会を開きました。選考は松野副学長（学長代理）、小野真理子委員（図書館運営委員代表）、岩見附属図書館長の3名で行いました。

応募総数は17点、この内1点が最優秀賞である学長賞、4点が優秀賞である館長賞に選ばれました。

選考委員の感想

予想以上の応募があり、学生の皆さんの図書館への愛情を感じて嬉しくなりました。どれもよい作品で迷いましたが、「図書館であることがわかること」、「女子大の雰囲気が伝わること」を軸に検討した結果、本学の特徴である「大江文庫」と創立者大江スミ先生推奨の挨拶「ごきげんよう」を盛り込んだ「大江文庫からごきげんよう」を最優秀賞に選びました。

（副学長 松野妙子）

図書館は大学の母港、図書館からのお知らせは大洋を航海する船にとって寄港地への道標です。この道標に新しい名前をつけようとコンテストが開催されました。

素敵なアイデアが寄せられましたが、選考委員会で「大江文庫からごきげんよう」に決まりました。これは、本学に集うものにとって懐かしい創立者大江スミを記念して名付けられた「大江文庫」と創立当時の挨拶語「ごきげんよう」を巧みに図書館報名に活かした名句です。懐かしい、本学の特色を表す名句です。選考委員会で同意が得られました。

これからは、本学内外で航行を続ける船たちには「大江文庫からごきげんよう」が知的補給のための母港寄港の道標となるでしょう。

（児童学科 小野）

受賞タイトル

🌸学長賞

3GC 山川果南さん 大江文庫からごきげんよう

🌸館長賞

2PA 古屋里佳さん ここから図書館発信

2PB 濱野有紀さん Rose Books

3GA 高橋知佳子さん K Library express

4PB 金木千穂さん Rose Library Letter

学長賞受賞者の言葉

このような賞を頂けたことに私自身とても驚き、またそれ以上に嬉しかったです。このタイトルは、図書館の落ち着いた雰囲気、学校全体の穏やかな校風、大江先生の理念をもとにいつも学校生活を共にしている仲間と話し合っ
て考えました。たわいもない会話ですが、たくさん笑い話し合った時間が大切な思い出になりました。この素晴らしい出会いを与えてくれたすべての事に感謝し、今後の学校生活も有意義なものにしたいです。

（3GC 山川果南）

授賞式の様子



影響を受けた2冊の本

大学のころに出会った書物は、その後のものの考え方、感じ方に大きな影響を与える。私は1965年に建築学科に入学したが、たまたま前年に出版された2冊の本から大きな影響を受けた。一冊は栗田勇著「現代の空間」、もう一冊はバーナード・ルドフスキー「Architecture without Architects」（建築家なしの建築）である。

「現代の空間」はブックデザインからして衝撃的であった。それは、函（はこ）とハードカバーそしてソフトカバーで構成されている。函から本を出し、ハードカバーを外してソフトカバーにおおわれた本体に到達する。本の中身は贅沢なアート紙で構成され、内容と照応するような栗田勇の処女詩集「サボテン」やボードレール、ランボー等の詩が随所に散りばめられている。選り取られ、切り取られた写真がページを進めるごとに展開する。シュールリアリストの絵画、彫刻。細胞などミクロコスモスから宇宙まで。映像空間から建築空間まで。サンボリズム（象徴主義）に基づく空間の芸術原論を本全体から感じることができる。

「現代の空間」は、1925年当時38歳「住宅は住むための機械である」と喝破した機能主義の旗手ル・コルビジェと弱冠21才のサルバドル・ダリが友人宅で食事するエピソードからはじまる。そのなかでダリは、「・・・未来の建築は柔らかくて毛深いものになる・・・偉大な建築の天才はガウディだ・・・カタロニア語でダリは欲望、ガウディは快樂を意味する・・・」と予言する。そして1955年コルビジェがデザインしたロンシャン教会がこのダリに応えたものだとも・・・。「近代建築」の翳りを強く印象付けられた。

2冊目の本は、ルドフスキーの「建築家なしの建

杉本 茂

築」である。MoMA（ニューヨーク近代美術館）での展覧会のカタログとして作成されたもので、ヴァナキュラー（風土的）でアノニマス（無名）な建築家のいない「建築」の写

真は圧倒的な存在感を見せつける。コルビジェ、ミース、ライトといった近代建築の巨匠は以前の輝きを失った。これから我々は住宅や建築をどのように造っていけばいいのか。我々に鋭く突きつけられた問題であった。

それから私はものがつくられる仕組み、無名ではあるがそれを支える技能や伝承方法そしてその組織について学び始めた。大工さんや工務店、住宅産業の研究はこのような脈絡の中でうまれた。建築に関わる継続的な維持管理や不断の改善の積み重ねそして建替活動を含めてその総体が迫力ある建築や環境を成立させている。私が大学に入ったころには新規住宅建設量は180万戸もあったが今や90万戸と半減した。しかしこれは悲観的なことではない。一戸の住宅に十分なエネルギーをかけることができる時代の到来でもある。いよいよ質の高いすぐれた住宅と環境を併せ持った住宅建築を形づくる機会が到来したといえる。これからは、このような可能性を現実のものにできる「建築家」が求められる。

大学の4年間は時間的にも精神的にも貴重な自由時間といえる。この時に、皆さんの魂を揺さぶる書物と出会うことを心から願っています。

（生活デザイン学科 教授）



本学教員寄贈著書紹介

平成26年に寄贈を受けた本学教員の著作等を紹介いたします。ご寄贈いただきましてありがとうございました。今後も著作物出版の折にはご寄贈いただければ幸いです。

天野正子

<老いがい>の時代 岩波書店 2014

井上眞弓

狭衣物語 文の空間 翰林書房 2014

河野優子

モーパッサン短篇選集 弘学社 2014

田中弘之

よくわかる病気のときの食事と生活
ちようえい出版 2014

論文「高血圧自然発症ラットにおけるカムカム投与が高血圧を抑制する生理学的メカニズムの研究」
2014

西海賢二

地蔵山墓地調査報告書市川市文化振興課 2014

市川のくらしと伝承 市川市文化振興課 2014

柳田国男研究6・7 梶社 2009・2014

博物館展示と地域社会 岩田書院 2014

城下町の民俗的世界 岩田書院 2014

旅と祈りを読む 臨川書店 2014

クロスほか 論文多数

山崎薫

わかりやすい食品機能学 三共出版 2014

吉川晴美

家庭支援の保育学 建帛社 2010



町田キャンパスの図書館には、いつも熱心に図書館の業務に携わる学生のスタッフが15人います。そんな学生スタッフの仕事の一つが、本の展示です。展示テーマを決めることから、実際に展示するまで行っています。毎回、華やかに飾ってある展示の裏には、実は……少し覗いてみませんか？

学生スタッフに 独占インタビュー!

展示作業で楽しかったこと、辛かったことは？

- ◆楽しかったこと
展示のポップを作ったり案を考えたりすること。
皆さんに本を勧める事ができたこと。
- ◆辛かったこと
内容がまとまらなかったり、期限に間に合わず、
最後は急ぎ作業になること。
ハサミを使って長時間作業すると手が痛くなること



展示で一番見て欲しいところは？

- ・装飾
折り紙を折ったり色画用紙で色を出して盛り上げました。
- ・本
少しでも気になったら手にとってみてほしい。
- ・ポスター
- ・展示の仕方
- ・とにかく図書館に来て展示を見てほしい……。

2014年11,12月展示
「Fashion Library (開館中)」

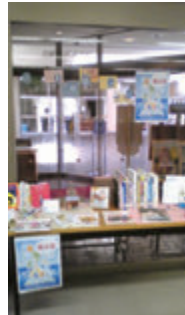


生活文化博物館コラボ企画
図書館に見る
“オートクチュール”

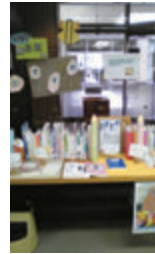
2015年1～3月展示
Book Hunter
「C書庫を活用しよう！」



この迷宮にはいまだかつて
誰も足を踏み入れることはなかった…。



2014年7,8月展示
「挑む夏、遊ぶ夏」



夏を楽しみたい
「私」向けの展示

遊ぶ夏

夏に何かを掴みたい
「私」向けの展示

挑む夏

今だから言えることはありますか？

- ・Fashion Library (開館中) のクイズがもの凄く難しかった。
友人に宣伝したはいいけど、自分は答えが一間も分からなかった。
- ・展示は見る方にはありがたいけど、作る方にとっては大変な作業となることを学んだ。
- ・誰が作ったのか分からない装飾が多い。



2014年9,10月展示
「恋する秋」



「〇〇の秋」
あなたは何をしますか？
ひと夏ではなく、実りの秋で

恋する秋

今後の抱負!

- ・皆に読んでもらいたい本をたくさん紹介するために読書時間を増やす。
- ・もっと、完成度の高い展示を目指したい。
- ・ポスターやポップを見て、思わず展示が気になるようなものを作りたい。
- ・テーマや展示の仕方などもっと意見を出せるように頑張りたい。
- ・展示の為に図書館を訪れてくれる方が増えると嬉しい。



○展示の流れ ～展示の作り方～

①テーマを決めます



②本を選びます(選書)



③展示索を練ります



④飾り+ポスターを作ります



⑤完成です!!



附属図書館ラーニングコモンズ について

附属図書館では平成26年度私立大学等教育研究活性化設備整備事業補助金を活用し、新たに町田キャンパスの大江記念図書館にラーニングコモンズを設置します。ラーニングコモンズとは、利用者が図書館を通じて得られる様々な情報資源を活用して、主体的に学習を進めていくスタイルーアクティブラーニングーを実現する「場」のことです。

本学では建学の精神（KVA精神）をふまえ、学生一人一人と丁寧に向き合い、「卒業成長値」を高める教育を目指していますが、今回はそうした本学ならではのラーニングコモンズを設置します。具体的には、1階に

- ①グループワーク・スペース（利用者が相互に刺激しあい学修意欲を高める）、
- ②ラーニングサポート・スペース（学生の個性や個々の状況に応じた学修支援を行う）、
- ③コモンギャラリー（学内外の関係者との交流を支援する）、

そして④ディスカバリー・スペース（学術雑誌などの最新情報源からの発見を目指す）の4つのエリアを設け、それぞれの教育効果がリンクすることで「卒業成長値」を高めることを狙いとしています（詳細はレイアウト図参照）。また、利用者の憩いの空間を創出することもテーマの一つであり、その一環としてラーニングコモンズ内に自動販売機の設置も計画しています。

現在、3月末日の完成、4月のリニューアルオープンを目指し作業が進められています。

なお、附属図書館ラーニングコモンズは、より良いアクティブラーニングの場を提供するため、次年度以降も順次整備を進める予定ですので、是非とも積極的に利用していただき、図書館スタッフまでご感想・ご意見をお寄せ下さい。

（学術情報グループ）





図書館のあれこれ 第2回

ときめく OPAC

OPAC (オーパック) とは?
パソコンを使ってできる蔵書検索サービスです

◎ OPAC の活用方法

その他

- ★新着図書のご案内
 - ★貸出ランキング
 - ★開閉時間の確認
 - ★library news
- など活用して損はないコンテンツが沢山!
是非あなたの大学生活に役立ててください!



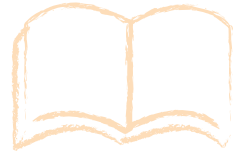
My library について

- ★予約
 - ★自分の借りた本の履歴
 - ★貸出の返却期限の確認
- などの機能がある。

My library の登録をすると予約や貸出期限をすぐチェックすることができる。

学生編集スタッフのおすすめ図書

図書館報の学生編集スタッフ（と図書館スタッフ）がおすすめする、生活と人生と勉強に役立つ、図書館にある楽しい本の数々です。他キャンパスの図書は取り寄せて読むことができます。



世界の美しいお城

教育実用出版事業室企画・編集

ヨーロッパ方面のお城がたくさん載っています。まだ貴族社会であった時代の文化が好きな方にはオススメです。四季おりおりの写真から旅行のスナップのような写真、お城の歴史にも触れられています。

請求記号 290.9/キ 58



叱られる力

阿川佐和子著

叱られ慣れていない若者、叱ることのできない大人。名インタビュアー阿川佐和子さんの大ベストセラー『聞く力』の第2弾です。

請求記号 361.45/ア 25/2

吹き抜け大全：デザインも温熱環境も諦めない

日経アーキテクチュア編

“吹き抜け”と言っても、ただ天井が高い空間なのではなく、風や光を通し、開放感も与え、住宅全体が快適になる環境を生み出す魔法の空間なのです。さまざまな“吹き抜け”を、カラー写真、図面と解説で見ることができます。



請求記号 528.2/ニ 22

へなちょこ手づくり生活

たかぎなおこ編

自分でちょっとしたものを作ろうとしている人にとってもおすすめ！作者さんがいろいろ作ってみた記録と作り方を、可愛いイラストと漫画で紹介しています。レッツトライ手作り！

請求記号 590/タ 25



誌上・パターン塾

まるやまはるみ監修

身頃 22 種類、袖 26 種類、襟 40 種類のパターンの製図の仕方がわかりやすく書かれている本。これからパターンの勉強をする人や型紙の起こし方がわからない人におすすめ。

請求記号 593.3/シ 20



男子がもらって困るブローチ集

光浦靖子著

光浦靖子氏による凝りに凝った作品集。かわいいけれど、女子ももらったら困りそう。

請求記号 594.9/ミ 28

人気デパ地下“スイーツ”パッケージ図鑑

日経デザイン編

デパ地下で売れるパッケージを集めています。見るだけでも楽しい。

請求記号 675.18/ニ 22



つみきのいえ

加藤久仁生絵 平田研也文

アカデミー賞短編アニメ賞など話題になった映画「つみきのいえ」の絵本。絵の綺麗さ、色の美しさに心躍ります。あなたも久しぶりに絵本を開きませんか？

請求記号 726.5/カ



明日の子供たち

有川浩著

児童養護施設の新人職員とそこで暮らす子供たちの物語です。施設にいる子はかわいそうという認識はひっくり返されるかもしれません！子供と関わる仕事をしたい人には是非読んでもらいたいです。

請求記号 913.6/ア 77



給食のおにいさん (シリーズ)

遠藤彩見著

給食調理員として働くことになったコックさん。レストランとは違う大量調理の現場や給食費滞納、食べ残し問題など給食の世界は頭を抱えることがいっぱい！

請求記号 文庫/エ 50

ハルさん

藤野恵美著

ハルさんとふうちゃんの父娘の成長をふうちゃんの結婚式の日に振り返る心あたたまるお話です。



請求記号 文庫/フ 46

ビブリア古書堂の事件手帖 (シリーズ)

三上延著

日常生活のちょっとした出来事の謎を解決して、日常の裏側を見たような気がするお話です。特におちゃめなマスター(おじいちゃん)が私のお気に入り。

請求記号 文庫/ミ 6/1~5



大江文庫からごきげんよう

東京家政学院大学 図書館報 第 61 号

ISSN 2189-2881

平成 27 年 3 月 31 日 発行

発行者 : 東京家政学院大学附属図書館

〒 194-0292 東京都町田市相原町 2600

電話 : 042-782-9815

印刷所 : コロニー印刷